

1997年9月20日（土）西表島：仲間川林道

午前中に一時を過ごした林道でしばらく粘ってみるが、Tさんのいわれた通りでヤエイチの活動時刻は過ぎたらしい。ちょうど木陰のトゲのある厚手の植物葉上に止まったクロセセリを Video で狙うも映像としては記録できず。偶然にもオキナワビロードセセリの産卵状況を目撃できてクロヨナという植物がマメ科といいながら結構な大木であることを知る。この木が陰を落とす地面すれすれにヒョイヒョイという感じで忙しく飛び回るヒカゲチョウをネットインすると、なんと後翅が大きく欠損したシロオビヒカゲ。そういえば近くに竹藪がみられ納得。蝶採集案内書に従って藪を叩いてみるがシロオビヒカゲは踊らず。

2003年11月3日：与那国島2日目

幸い2日目も好天気。飛行機の時間までせいっぱいのチョウタイムを楽しまねば、と朝食をさっさと済ませて、アギンダへ。昨日の活動で勝手にわかった場所だけに各人各様にネットを片手に目をこらす。以前にくらべて栽培園の管理がおろそかになっている気配が濃く、道路沿いにはススキの類がはびこっている。そのせいかクロセセリの静止する姿が目に入り、デジカメで撮影を試みるが、よくばって接写距離を縮めていいアングルを選んでいるうちに飛び去られる。

40919（日）石垣島：オモト林道

於茂登山麓のシロウラナミシジミを最後のチョウタイムとする目的で於茂登トンネル経由のルートを取りシロウラナミシジミの観察場所へと進む。MKさんからまだあまり蝶屋には知られていないと教えていただいたポイントのはずだが、オモト林道で出会った同好者が先にきていて2,3人が白いネットをゆらしている。KTさんを誘って、昨年ウコンの花を見せてあげた場所に行ってみるとそこはすっかり荒地と化している。足元の草葉上にとまっているクロセセリに気づきKTさんにネットインを勧めるも、まわりの草がじゃまをして逃がしてしまう。



40920（月）石垣島：オモト林道

シロウラナミシジミがいる可能性の高い畑と道路との境界部分に入り込んでブッシュを叩いて回ることにする。背の高い男性は「畑には絶対に入らないほうがいいよ」と忠告してくれるが、あくまで畑の中ではなく林縁を歩くだけだからと観察を続ける。KTさんもついてきていつの間にかクロセセリをネットインし、これは何、と見せにくる。「きのうとり逃がしたクロセセリじゃないか。完璧な新鮮个体だよ。やったね」とやりとりしていると、・・・

